

22 地域特性を生かした都市空間の形成			
主管課名	都市整備部 街づくり事業課		
主管課長名	加藤 舞	電話番号	042-481-7401
関係課名 (組織順)	産業振興課, 下水道課, 都市計画課, 住宅課, 道路管理課, 交通対策課		
目的	対象	市内全域	
	意図	地域特性を踏まえ、多様な機能が調和し、人々が集い、活気とにぎわい、うるおいとやすらぎがある京王線の地下化に伴う調布のまちの都市構造の大きな変貌を契機とした南北一体のまちづくりを前進させるため、駅前広場や鉄道敷地周辺への都市機能の集積や、ゆとりある空間の確保により、魅力ある中心市街地を形成するとともに、地域の特性を生かした質の高い都市空間を形成します。	
施策の方向			

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>(22-1 魅力的な中心市街地の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場整備について、令和2年度までに実践した市民参加でいただいた御意見や、関係機関等との協議を踏まえ、整備計画図を決定した。 鉄道敷地整備について、オープンハウスやアンケート調査等による市民参加を実践し、区間 A（鶴川街道～調布西第2路上自転車等駐車場）について具体的な整備計画の検討を進めた。 調布駅、国領駅周辺の区画道路等の整備を進め、交通の円滑化及び中心市街地の活性化に寄与した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>調布駅前広場整備について、庁内関連部長会議を開催し、環境空間整備の方向を確認しながら整備計画図を決定した。また、詳細の検討事項については、次長・課長級で構成する連絡調整会議で調整を図った。</p>	
<p>②調布のまちの魅力発信</p> <p>東京都内でも有数の規模を誇る調布駅前広場について、道路としての交通結節機能だけでなく、環境空間としての広場機能の充実を図る計画とすることで、まちの魅力発信につなげた。</p>	
<p>(22-2 駅周辺におけるまちづくり)</p> <p>つつじヶ丘駅南側の都市計画道路（調布3-4-21）については、用地取得を進めるとともに、東部地区については、将来的なまちづくりの展望の下、つつじヶ丘・柴崎駅周辺における抜本的な踏切対策や沿線まちづくりなど、交通環境の改善に向けた検討を進めた。</p>	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>東部地区の交通環境改善について、都市整備対策協議会で現在の状況や今後の取組を情報共有するとともに、国土交通省、東京都及び京王電鉄(株)と連携し、交通環境改善の実現に向けて取り組みを進めた。</p>	
<p>(22-3 深大寺地区におけるまちづくり)</p> <p>自然環境と調和した歴史的な風情を感じさせる深大寺周辺の街なみ景観の維持・向上を図るため、調布市深大寺地区街なみ整備基本計画及び調布市深大寺地区公共サイン整備計画に基づき、安全安心に深大寺地区を回遊できる環境の整備を推進し、ユニバーサルデザインに対応した誘導サインの作成・設置を行った。</p>	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>深大寺地区におけるまちづくりについて、神代植物公園を管理している東京都や地域と連携を図り、深大寺地域の回遊性の向上や街なみ・景観に配慮したまちづくりを推進した。</p>	
<p>< 令和2年度における施策の成果についての総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場については、これまでの市民参加の取組や関係団体との意見交換を重ね、整備計画図を決定するなど、令和7年度の完成に向けて着実に事業を推進した。 鉄道敷地整備については、測量及び用地取得を進めるとともに、様々な手法を組み合わせた市民参加を実践し、具体的な整備計画の検討を行うなど、今後の緑道整備に向けた取組を行った。 調布駅、国領駅周辺の区画道路等の整備を進め、交通の円滑化及び中心市街地の活性化に寄与した。 深大寺地区における街なみ環境整備事業として、区域内（深大寺元町5丁目）に5箇所の公共サイン案内板を作成・設置した。 	

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	67.8 (H30)	%	67.1	68.1	80.0
2 駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	67.0 (H30)	%	69.7	70.9	80.0
3 深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	89.0 (H30)	%	89.6	89.6	90.0
【特記事項】					

2 令和2年度の振り返り — 評価 (CHECK)

◆施策の成果向上に向けて、令和2年度に実施した取組に対する評価

※コロナ禍を踏まえたプロセス、実績、成果の総合的な評価

総合評価	A	S:「実施した取組において顕著な成果が得られた。」 A:「実施した取組において予定した成果が得られた。」 B:「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」 C:「実施した取組において予定した成果が得られなかった。」 D:「実施した取組において成果が得られなかった。」
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場、鉄道敷地及び区画道路の各事業について、用地取得や市民参加の実践による整備計画の策定、道路整備を行い交通開放するなど、各事業を計画どおり着実に進めることで、交通の円滑化を図り、まちの活性化に寄与したため。 調布駅前広場、鉄道敷地及び区画道路の各事業について、コロナ禍のなかで、市民参加手法を工夫し、柔軟に対応しながら、各事業を推進することができたため。 	

3 施策の方向 — (ACTION)

◆コロナ禍の影響等を踏まえた現基本計画期間内(令和4年度まで)における施策の主な課題と取組の方向

・左欄と右欄において、丸数字で対になるよう記載

主な課題	取組の方向
①調布駅前広場については、これまで実践してきた市民参加の結果・社会情勢の変化・協議内容を踏まえ計画変更を行った。このため、事業費の精査が必要な状況となっている。	①令和3年度の詳細設計において、具体的な仕様や施工ステップを検討し、概算工事費等の精査をしていく。

◆デジタル技術を活用した利便性向上や事務の効率化に向けた今後の取組

(オンライン活用、ペーパーレス化、電子申請による手続など)

※重点プロジェクトに関連する取組(★印)、新規の取組(●印)、拡充の検討を要する取組(○印)、左記以外の取組(・印)

●2次元コードの活用によるWEBアンケートを実施し、集計の効率化を図った。今後も市民参加手法のひとつとして公式ツイッターの活用なども含めデジタル技術の活用を進めたい。

4 次期総合計画期間を含む中長期的な施策の方向(2030年代を見据えた方向)

◆施策を取り巻く状況(国、東京都・近隣自治体の動向など)を踏まえた取組の方向

※法改正・制度改正などに加えて、「フェーズフリー」、「スマートシティ」など多角的な視点も含めた状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	①令和2年度の道路法改正により、賑わいのある道路空間を構築するための道路の指定制度が創設された。歩行者利便増進道路(ほこみち)として指定した道路では、歩行者が安心・快適に通行・滞留できる空間の構築を可能とする規定盛り込まれた。	①調布駅前広場及び鉄道敷地の整備については、にぎわいや交流を創出し、調布のまちの魅力を高めていくため、これまで長年の課題であった、道路法に基づく道路での利活用や運用ルールについて、新しい制度を積極的に活用しながら、課題解決に向けて取り組む。
	②令和2年度の踏切道改良促進法の改正により、指定・改良期間の撤廃や市町村による指定の申し出が可能となった。これにより、立体交差事業など長期間を要する対策を推進しやすくなった。	②東部地区の抜本的な踏切対策として、調布市内の5箇所の踏切道(仙川駅～国領駅間)が、改正踏切道改良促進法に基づく「改良すべき踏切道」に指定された。このため、今後、改良方法を検討・確定し、改良計画

東京都や近隣自治体の動向等		を国土交通省へ提出していく。(提出期限: R8.3.31) また, その後の具体的な対策事業の実施に向けて関係機関との調整を進めていく。
その他		

2.2 地域特性を生かした都市空間の形成

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	事務事業の概要
1	駅前広場の整備	④	●	街づくり事業課	京王線連続立体交差事業により地下化された調布・布田・国領3駅の駅前広場を南北一体的に整備し、交通結節点としての機能を向上させる。 調布・布田・国領3駅の各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間の有効活用と併せて、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある駅前広場を計画的かつ段階的に整備する。
2	鉄道敷地の整備	④	●	街づくり事業課	京王線連続立体交差事業により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、調布・布田・国領3駅の駅前広場整備と併せ、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として、鉄道敷地の整備に取り組む。
3	面的整備手法を活用したまちづくりの促進		●	街づくり事業課 都市計画課	調布駅周辺において、魅力的な中心市街地を形成するため、地区計画や市街地再開発事業などの面的整備手法を活用し、調和のとれた商業、業務、住宅施設等の立地誘導を図り、駅前拠点にふさわしい市街地形成を図る。
4	中心市街地における区画道路等の整備	④	●	街づくり事業課	京王線連続立体交差事業による効果を最大限発現するため、駅前広場や鉄道敷地の整備と併せ、周辺の区画道路や生活道路等を整備し、安全で快適な道路ネットワークを形成し、中心市街地の回遊性の向上を図る。
5	交通環境の改善による駅周辺のまちづくり		●	都市計画課	柴崎駅周辺については、駅周辺における利便性や安全性の確保など、交通環境の改善に向け、都市計画道路の整備など、まちの将来像を見据えた中・長期的な視点から、住民参加によるまちづくりを進める。 つつじヶ丘駅周辺については、都市計画道路や自転車等駐車場の整備を含めた総合的な視点からまちづくりを進める。 西調布駅周辺については、快適な市街地整備に向け、駅南側の都市計画道路の整備を見据え、地区の特性に応じたまちづくりを進める。
6	深大寺地区におけるまちづくりの推進	⑤	●	都市計画課	深大寺地区は、「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づいて設定された深大寺通り街づくり協議会が、調布市初となる街づくり協定である「深大寺通り周辺地区街づくり協定」を締結するなど、活発な街づくり活動が行われている地域である。 地区の緑の保全方や都市計画道路（調布3・4・30号線）の在り方等について検討を進める。 調布市深大寺地区街なみ整備基本計画（平成24年度策定）に基づき、歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど、深大寺地区の魅力向上に取り組む。

2.2 地域特性を生かした都市空間の形成

※各事務事業の概要については、巻末の「⑦事務事業概要一覧」をご参照ください。

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	R2決算事業費(千円)	令和2年度の実績	実績評価	進捗状況・今後の取組の方向										
								R2取組実績				方向						今後の取組内容 (新型コロナウイルス感染症の影響に関連する内容は冒頭に◆印を記載しています)
								計画前倒し	計画どおり	計画遅れ	コロナ影響	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善	現状維持		
1	駅前広場の整備	④	●	街づくり事業課	109,740	調布駅前広場南側ロータリーについては、一部修正に伴う交通管理者(警視庁)等との再協議を行い、ロータリー計画図を決定した。また、調布駅前広場の整備について、オープンハウスやアンケート調査を活用した市民参加や関係機関との協議を経て、調布駅前広場整備計画図を決定・公表した。	○	●									令和2年度に決定した「調布駅前広場整備計画図」を基に、広場実施設計の修正を行うとともに、南側広場の電線共同溝詳細設計、南側広場の上層設計、広場口基本設計等の各設計委託を令和3年度に行い、令和4年度からの工事実施に向けて取組を進める。	
2	鉄道敷地の整備	④	●	街づくり事業課	512,701	調布・布田・国領の3駅をつなぐ鉄道敷地の整備に取り組むに当たり、令和2年度は鶴川街道～調布西第2路上自転車等駐車場間の用地取得を行うとともに、オープンハウスやアンケート調査等を活用した市民参加を実施した。	○	●									京王線連続立体交差事業により生み出された鉄道敷地について、調布・布田・国領の3駅の駅前広場と連続した貴重な都市空間として有効に活用していくために、ぎわい、うるおい、やすらぎのある都市空間とすることを踏まえ、計画的な整備に取り組んでいく。 また、「鉄道敷地利用計画図」に基づき、整備区間ごとに、説明会等の市民参加を交えながら、計画的な用地取得と併せて、具体的な設計、整備を進めていく。令和2年度に行った鶴川街道～調布西第2路上自転車等駐車場間の市民参加の結果を活かして、令和3年度は詳細設計を行う。	
3	面的整備手法を活用したまちづくりの促進		●	街づくり事業課 都市計画課	42,897	調布駅周辺の市街地再開発事業に関連する道路整備として、平成29年度から調布7・5・1号線の整備を進めているところであり、令和2年度は、令和元年度に取得した用地の管理を行った。また、平成29年度から基礎調査を実施している調布駅南口中央地区について、令和元年度は、引き続き、事業化検討調査を実施した。	○		●								調布都市計画道路7・5・1号線(都道119号)と市道南20号線の整備等について、計画的に取組を進めていくとともに、回遊性向上につなげていく。また、東京都等の関係者との協議を進めて、整備完了に向けた取組を進める。	
4	中心市街地における区画道路等の整備	④	●	街づくり事業課	28,596	国領歩行者専用道路2号等の整備を実施したことで、歩行者等の安全性を確保するとともに回遊性の向上を図った。	○	●									京王線連続立体交差事業を契機とした、駅前広場、鉄道敷地及び都市計画道路の整備効果を最大限に発揮できるよう、今後も引き続き、計画的に区画道路等の整備を進めることで、安全で快適な歩行者ネットワークを形成し、中心市街地における回遊性の向上につなげていく。 令和3年度は、調布区画道路2号及び調布区画道路3号の設計を実施する。	
5	交通環境の改善による駅周辺のまちづくり		●	都市計画課	0(※)	つつじヶ丘駅及び柴崎駅周辺地区については、上位計画を踏まえ、両駅周辺の地域住民のまちづくりの機運醸成を図り、地域の特性を生かしたまちづくりの推進に向け、地域のまちづくりにおける現状と課題を整理するとともに、まちづくりの方向性の検討を行った。	○	●									つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区(東部地区)においては、開かずの踏切が存在していることや、清水栄道橋における安全対策、神代出張所移転など、地域の課題解決に向けて取り組む必要が高まっていることから、引き続き地元街づくり準備会や商店会と連携し、地元街づくりの機運を高めながら、地域のまちづくりの取組を進めるなかで、交通環境の抜本的改善の検討について進めていく。 西調布駅周辺については、駅南側の都市計画道路の整備を見据え、地区の特性に応じたまちづくりの検討を進める。	
6	深大寺地区におけるまちづくりの推進	⑤	●	都市計画課	10,702	調布市深大寺地区街なみ整備基本計画に基づく良好な街なみ景観の維持・向上を目的とした街なみ環境整備事業として、令和4年度以降に予定している市道北138号線他(参道他)、市道北137号線(寺前通り)ほかの遊歩道・散策路等の整備に向け、課題整理を行い、事業の推進につなげた。 また、深大寺地区の回遊性向上に向けて、主要市道5号線測量及び設計を行ったほか、調布市深大寺地区公共サイン整備計画に基づき、深大寺地区に誘導サイン(案内看板)を5基設置した。	○		●					●			深大寺地区にふさわしい土地利用の誘導と緑の保全等について検討を進めるとともに、深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき、歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど、地域と連携しながら、深大寺地区の魅力向上に取り組む。 併せて、深大寺周辺の整備に併せた交通環境整備については、街なみ景観などの魅力向上と連携した計画の検討を行う。	
								0	4	2	0	0	0	1	0	5	計	
								0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	83.3	割合(%)	

※ 事業費は、158ページ「地区計画制度を活用した街づくり」に含む

当該施策に体系付けられている全ての事務事業については、巻末に掲載している参考資料「⑥事務事業一覧(施策体系順)」をご参照ください。